



橋場 清廣議員

町内の危険箇所はどのくらいあるか

議員 災害の発生防止や自然災害に対する備えを充実して町民の生命と財産を守ることが行政の大事な役割だと思ふ。そこで次の事項を問う

①町内の危険箇所の件数はどのくらいあるか。
②県では老朽橋の延命化に向けた検討がされているが、町では橋の調査を実施しているのか。

町長 ①道路防災点検の結果では、落石崩壊危険箇所が7路線10箇所、岩石崩壊危険箇所が2路線2箇所、擁壁危険箇所が1箇所、橋梁基礎危険箇所が1箇所の計14箇所です。

これまでに道路改良工事によって1箇所の危険箇所は改善されています。残る箇所については日頃のパトロールはもちろんのこと豪雨時及び豪雨後には本危険箇所を優先して観察してきたところです。

今後も引き続き注意深く観察を行い、安心・安全な通行を確保してまいります。

②町は、20年度に町管理の橋梁187橋について職員による点検を行い、その実態を把握した上で緊急性の高い橋梁から専門的な診断を受ける長寿命修繕計画策定事業を実施する計画です。

この計画に基づき順次予防的修繕を行い、橋梁の延命化、安全性を確保してまいりたいと考えております。

来年度予算の編成方針は

議員 鈴木町政になって初めての予算編成を迎えて財政逼迫のなか20年度分に着手していると思う。予算編成の基本的な考え方はどうなっているか。

A 堅実な予算編成と重要課題着手する年

町長 総務省では、財務省への概算要求時での20年度地方交付税支出見込額を前年度の伸び率マイナス4.2%とする仮試算の結果を公表しております。県においても、1兆4千億円を超える県債残高の償還や主要3基金残高の大幅な減少に伴い、ここ数年多額の財源不足を生ずる見込みであることから「身の丈に合った規模」の予算を基本に編成する考えです。

一方、新年度から、24年度までの期間で町総合計画後期基本計画がスタートいたします。本町においては、基幹産業である酪農をはじめとした第一次産業振興、情報基盤の整備、教育環境の充実、雇用拡大、町中心商店街の活性化等が当面の最重要課題です。これらに



JR 葛巻駅の様子

黒毛和牛の振興策は

増頭対策を検討する



あらい はるじ 姉帯 春治議員

議員 葛巻町は酪農と林業の町として努力してきました。昭和55年から今まで比較的耕地面積が少ない農家が黒毛和牛を飼育し生活してきました。町も新農構事業や高齢化対策事業として取り組み増頭してきました。

繁殖牛千頭を目標に努力してきましたが今後目標達成のためにどのような取り組みをしていくのか。



水田に放牧した黒毛和牛

町長 葛巻町の農業の基幹は畜産であり、酪農とともに肉畜の振興は重要なものと考えています。岩手県では、16年に約十萬八千頭の飼養頭数を27年には十二萬三千頭に増頭する計画であり、「いわて肉用牛増頭運動」を展開してい

応する対策等を後期計画に盛り込みながら、町民ニーズを踏まえ優先度を精査して、新年度で実施すべき事務事業を着実に進められるように、メリハリのある予算編成を指揮してまいります。

災害復旧の進捗状況は

議員 6月の定例会で進捗状況を質問したが、現在復旧工事も大分進んでいるようです。町、県工事の進捗状況はどのようになっているか。

町営の工事は年度内に完了

町長 町施工の災害復旧は農業

用施設災害が10箇所、林業用施設災害が10箇所、公共土木施設災害が94箇所の合計で114箇所でした。現在69箇所が完了し残る45箇所も3月末までに完了予定です。

また、県施工の災害復旧については、災害関連事業の元町川がこれまでに8工区発注となり、現在急ピッチで工事が進められています。本河川全線の完了は20年度の予定です。

それ以外の災害復旧工事については、全箇所発注されており年度内の完了となっています。



星野川 災害復旧工事現場